

# 成果指標 達成状況一覧

## 資料2

基本計画 実施分野	施策展開	施策項目(主な項目)	実施計画 施策展開記号	施策展開	成果指標名	基準値	R6実績値	R6計画値	R6目標値	「状況区分」 基準値と現状値の比較	達成状況	担当部	課名
1	(1)国内外に開かれた 拠点空港の整備 (基本計画:P42掲載)	ア 那覇空港の更なる機能強化 a.那覇空港に求められる機能やサービス、利用者特性に対応し、利便性、快適性の更なる向上を図るために、世界最高水準の空港能力やサービスレベルを見据えた空港施設整備を促進する	3-(12)-イ	世界最高水準を見据えた 拠点空港等の整備	那覇空港の年間旅客数	7,999千人	19,524千人	20,719千人	20,719千人	前進 60%以上100%未 満	91%	企画部	交通政策課
		ア 那覇空港の更なる機能強化 b.国際航空物流ネットワーク強化に向けて、関連施設の整備の促進に取り組む イ 新石垣空港及び下地島空港の機能強化 b.国際航空便を活用した離島空港の物流機能を強化する	3-(4)-ア	シー・アンド・エアなど多 様な国際物流ネットワー ク強化と物流コストの低減	貨物輸送を行う国際航空路線数	0路線 (R2年度)	5路線	6路線	6路線	前進 60%以上100%未 満	83%	商工労働部	グローバルマー ケット戦略課
		ウ 主な拠点となる空港の機能強化 a.主な拠点となる空港の維持補修・機能向上を図り、離島空港へのネットワ ークの展開・拡充に取り組む	2-(8)-エ	離島を結び支える安全・安 定的でシームレスな交通体 系の構築	離島空港の年間旅客数	284.1万人 (R3年度)	553.8万人	499.7万人	499.7万人	前進 達成100%以上	125%	土木建築部	空港課
	(2)産業振興を担う港 湾の機能強化 (基本計画:P43掲載)	ア 那覇港の機能強化 a.岸壁整備等を含めた各ふ頭の機能再編及び防波堤、臨港道路等の整備に よる港湾施設の拡充を推進する b.総合物流センター等の国際物流拠点を構成する主要施設の戦略的な強化・ 拡充等を推進する c.持続可能な観光地形成を図るため、高付加価値のクルーズ船等誘致及び観 光・ビジネス拠点形成のための環境整備を推進・促進する	3-(12)-ウ	経済成長を加速させる拠点 港湾機能やネットワーク機 能の強化拡充	那覇港の年間旅客数・公共取扱貨物量 (那覇港の年間旅客数)	旅客数 27万人 (R2年)	153万人	126万人	126万人	前進 達成100%以上	127%	土木建築部	港湾課
		イ 中城湾港の機能強化 a.航路の新設・拡充を含む効率的で生産性の高い物流ターミナルの整備・運営 や既存施設の再編・強化、新たな産業空間の確保と関連産業の立地促進を推 進する c.クルーズ船寄港地の形成やスーパーヨットの受入環境整備、マリナー整備、 東部海浜開発事業等を推進する	3-(12)-ウ	経済成長を加速させる拠点 港湾機能やネットワーク機 能の強化拡充	中城湾港の定期運航貨物船(新港地区)便数、 中城湾港のスーパーヨット寄港数 (中城湾港の定期運航貨物船(新港地区)便数)	便数 2便/週 (R3年度)	3便/週	3便/週	3便/週	前進 達成100%以上	100%	土木建築部	港湾課
		イ 多様な手段で快適に移動を楽しめる環境の充実 b.クルーズ船やスーパーヨット誘致に向けた取組を推進する	3-(12)-ウ	経済成長を加速させる拠点 港湾機能やネットワーク機 能の強化拡充	中城湾港の定期運航貨物船(新港地区)便数、 中城湾港のスーパーヨット寄港数 (中城湾港のスーパーヨット寄港数)	寄港数0回 (R3年)	8回	6回	6回	前進 達成100%以上	133%	土木建築部	港湾課
		イ 中城湾港の機能強化 b.那覇港と中城湾港の機能分担・有機的連携を推進する イ 多様な手段で快適に移動を楽しめる環境の充実 b.クルーズ船やスーパーヨット誘致に向けた取組を推進する	3-(12)-ウ	経済成長を加速させる拠点 港湾機能やネットワーク機 能の強化拡充	那覇港、中城湾港、本部港の公共取扱貨物量 伸び率	98% (R2年)	139% (R6年度)	103%	103%	前進 達成100%以上	740%	土木建築部	港湾課
		ウ 圏域の拠点港湾の機能強化 a.運天港、金武湾港、平良港、石垣港及び本部港等において港湾機能の強 化・拡充を推進及び促進する b.平良港、石垣港及び本部港等において、大型クルーズ船が寄港可能な岸壁 や旅客ターミナル施設の整備、スーパーヨット等の受入環境整備に取り組む c.安全で快適な小型船だまりやマリナー等の港湾空間の確保を推進する	3-(12)-ウ	経済成長を加速させる拠点 港湾機能やネットワーク機 能の強化拡充	本部港・平良港・石垣港のクルーズ船寄港数	13回 (R2年)	176回	175回	175回	前進 達成100%以上	101%	土木建築部	港湾課
		ア 航空路や航路の拡充に向けた取組強化 a.国内・海外の誘客を推進し、路線網を活用した輸送網を拡充する b.航空路線の就航を促進する	3-(12)-イ	世界最高水準を見据えた 拠点空港等の整備	那覇空港の国際路線数(就航都市数)	0路線	13路線	15路線	15路線	前進 60%以上100%未 満	87%	文化観光スポ ーツ部	観光振興課
	(3)人流・物流の拡大 に向けた取組強化 (基本計画:P44掲載)	イ 物流ハブとしての機能強化及び物流の効率化 a.航路ネットワークの拡充など那覇港の中継機能強化による片荷輸送の改善 を促進する ウ 販路拡大に向けた取組及び環境整備 a.空港・港湾の国際物流ハブ機能を活用した県産品販路拡大を促進する	3-(4)-ア	シー・アンド・エアなど多 様な国際物流ネットワー ク強化と物流コストの低減	那覇空港における国際貨物量及び那覇港にお ける定期外国航路(海外)寄港地数 (那覇空港における国際貨物量)	1万トン (R2年)	0.3万トン	5万トン	5万トン	後退	-18%	商工労働部	グローバルマー ケット戦略課
		ウ 販路拡大に向けた取組及び環境整備 b.物流効率化及び販路拡大に向けた物流事業者支援を推進する d.農林水産物の輸送コストの低減対策を推進しつつ、流通の合理化を促進す る	3-(4)-ウ	県内事業者の海外展開促 進とビジネス交流拠点の形 成	県内輸出事業者等による沖縄からの年間輸出 額	19,346百万円 (R3年)	24,013百万円	21,637百万円	21,637百万円	前進 達成100%以上	204%	商工労働部	グローバルマー ケット戦略課
		ウ 販路拡大に向けた取組及び環境整備 e.臨空・臨港型産業の集積を促進する	3-(4)-イ	臨空・臨港型産業の集積促 進	臨空・臨港型産業における新規立地企業数(累 計)	0社	55社	74社	74	前進 60%以上100%未 満	74%	商工労働部	企業立地推進課
ア 航空路や航路の拡充に向けた取組強化 a.国内・海外の誘客を推進し、路線網を活用した輸送網を拡充する b.航空路線の就航を促進する		3-(12)-イ	世界最高水準を見据えた 拠点空港等の整備	那覇空港における国際貨物量及び那覇港にお ける定期外国航路(海外)寄港地数 (那覇港における国際貨物量)	那覇港における定 期外国航路(海外) 寄港地数13寄港地 (R2年度)	那覇港における定 期外国航路 14寄港地	那覇港における定 期外国航路 14寄港地	那覇港における定 期外国航路 14寄港地	前進 達成100%以上	100.0%	土木建築部	港湾課	

基本計画 施策分野	施策展開	施策項目(主な項目)	実施計画 施策展開記号	施策展開	成果指標名	基準値	R6実績値	R6計画値	R6目標値	「状況区分」 基準値と現状値の比較	達成状況	担当部	課名	
1	(3)人流・物流の拡大 に向けた取組強化 (基本計画:P44掲載)	ウ 販路拡大に向けた取組及び環境整備 e.臨空・臨港型産業の集積を促進する	3-(4)-イ	臨空・臨港型産業の集積促進	航空関連産業企業数(累計)	6社	8社	11社	11社	前進 0%超60%未満	40.0%	商工労働部	企業立地推進課	
		エ 空港・港湾へのアクセス強化に向けた陸上輸送の基盤整備 d.新広域道路交通計画、ハンゴ道路、2環状7放射道路等幹線道路網の整備を推進する	3-(12)-エ	シームレスな交通体系の整備	主要渋滞箇所数	173箇所 (R3年度)	166箇所	168箇所	168箇所	前進 達成100%以上	140%	土木建築部	道路街路課	
		エ 空港・港湾へのアクセス強化に向けた陸上輸送の基盤整備 a.那覇空港自動車道の整備を促進する	3-(4)-ア	シー・アンド・エアなど多様な国際物流ネットワーク強化と物流コストの低減	那覇港～中城湾港新港地区の所要時間・那覇空港～中城湾港新港地区の所要時間 (那覇港～中城湾港新港地区の所要時間)	那覇港～中城湾港 45分 (R3年度)	45分	45分	45分	前進 達成100%以上	100.0%	土木建築部	道路街路課	
			3-(4)-ア	シー・アンド・エアなど多様な国際物流ネットワーク強化と物流コストの低減	那覇港～中城湾港新港地区の所要時間・那覇空港～中城湾港新港地区の所要時間 (那覇港～中城湾港新港地区の所要時間)	那覇空港～中城湾港 50分 (R3年度)	50分	50分	50分	前進 達成100%以上	100.0%	土木建築部	道路街路課	
	(4)安全・安心で移動の質を上げる取組強化 (基本計画:P45掲載)	ア 安全・安心な島沖繩の構築に向けた受入体制整備 a.空港・港湾においては、多数の外国人旅行者等が同時に入域するスムーズでストレスのない玄関口として、CIQの迅速化等に取り組み b.新型コロナウイルス等の水際対策を推進する	3-(2)-ア	「新しい生活様式/ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	観光客が「沖繩は安全・安心であると感じる」割合	91.8% (R3年度)	87.8%	91.8%	91.8%	後退	87.8%	文化観光スポーツ部	観光振興課	
		イ 多様な手段で快適に移動を楽しめる環境の充実 a.空港・港湾と観光二次交通結節点(観光拠点エリア)における二次交通の利便性向上に向けた取組を推進する b.クルーズ船やスーパーヨット誘致に向けた取組を推進する	3-(2)-エ	DXによる沖縄観光の革新	旅行中に利用した公共交通機関の割合	67.3% (R3年度)	79.0%	70.3%	70.3%	前進 達成100%以上	390.0%	文化観光スポーツ部	観光振興課	
			3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	プレミアム/ラグジュアリークラスのクルーズ船の寄港回数割合	0% (R2年度)	35.5%	41.8%	41.8%	前進 60%以上100%未満	85%	文化観光スポーツ部	観光振興課	
	2	(1)体系的な道路ネットワークの構築 (基本計画:P52掲載)	ア 幹線道路網の整備 a.那覇空港自動車道の整備を促進する b.沖縄西海岸道路の整備を促進する c.新広域道路交通計画、ハンゴ道路、2環状7放射道路等幹線道路網の整備を推進する	3-(4)-ア	シー・アンド・エアなど多様な国際物流ネットワーク強化と物流コストの低減	那覇港～中城湾港新港地区の所要時間・那覇空港～中城湾港新港地区の所要時間 (那覇港～中城湾港新港地区の所要時間)	那覇港～中城湾港 45分 (R3年度)	45分	45分	45分	前進 達成100%以上	100.0%	土木建築部	道路街路課
			ウ 渋滞ボトルネック対策 a.主要渋滞箇所における渋滞ボトルネック対策を推進する	3-(4)-ア	シー・アンド・エアなど多様な国際物流ネットワーク強化と物流コストの低減	那覇港～中城湾港新港地区の所要時間・那覇空港～中城湾港新港地区の所要時間 (那覇港～中城湾港新港地区の所要時間)	那覇空港～中城湾港 50分 (R3年度)	50分	50分	50分	前進 達成100%以上	100.0%	土木建築部	道路街路課
				3-(12)-エ	シームレスな交通体系の整備	主要渋滞箇所数	173箇所 (R3年度)	166箇所	168箇所	168箇所	前進 達成100%以上	140%	土木建築部	道路街路課
イ 追加IC・スマートICの整備 a.幸地ICの整備を推進する			3-(12)-エ	シームレスな交通体系の整備	モノレール乗客数	年間平均利用客数 30,044人/日 (R2年度)	60,898人/日	56,900人/日	56,900人/日	前進 達成100%以上	772%	土木建築部	都市計画・モノレール課	
(2)本島内をシームレスに移動可能とする陸上交通体系の構築 (基本計画:P53～P54掲載)		イ 公共交通機関の機能強化と利用拡大に向けた取組強化 a.モノレール三向化を推進し、高速化や需要にあわせた駅舎の増築等を検討する b.基幹バスシステムの導入に向けた取組を推進する	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	公共交通利用者数	29,561千人 (R2年度)	43,055千人 (R5年度)	48,000千人	48,000千人	前進 60%以上100%未満	73.2%	企画部	交通政策課	
			3-(12)-エ	シームレスな交通体系の整備	乗合バス利用者数	17,785千人 (R2年度)	23,107千人	27,362千人	27,362千人	前進 0%超60%未満	56%	企画部	交通政策課	
		イ 公共交通機関の機能強化と利用拡大に向けた取組強化 c.公共交通を利用した観光周遊のモデルルート提案する	3-(2)-エ	観光二次交通の利便性向上及び利用促進	旅行中に利用した公共交通機関の割合	67.3% (R3年度)	79.0%	70.3%	70.3%	前進 達成100%以上	390.0%	文化観光スポーツ部	観光振興課	
		ウ 交通結節点の整備 a.まちづくりと連携した交通結節点の整備を促進する	3-(12)-エ	シームレスな交通体系の整備	フィーダー(支線)交通検討実施エリア数(累計)	3エリア	3エリア	2エリア	2エリア(方面)	横ばい	0%	企画部	交通政策課	
		ウ 交通結節点の整備 c.パーク・アンド・ライドの利用を促進する	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	電動車(EV・PHV)普及率	0.221% (R2年度)	0.34%	1.016%	1.016%	前進 0%超60%未満	15%	環境部	環境再生課	
			3-(12)-エ	シームレスな交通体系の整備	てだこ浦西駅・パークアンドライド駐車場台数	85,826台 (R2年度)	245,768台	164,327台	164,327台	前進 達成100%以上	204%	土木建築部	都市計画・モノレール課	

基本計画 施策分野	施策展開	施策項目(主な項目)	実施計画 施策展開記号	施策展開	成果指標名	基準値	R6実績値	R6計画値	R6目標値	「状況区分」 基準値と現状値の比較	達成状況	担当部	課名	
2	(3)県土構造再編を視野に入れた交通体系構築 (基本計画:P54掲載)	ア 駐留軍用地跡地を活用した骨格的な道路網の検討 a 中部縦貫道路や豊野湾横断道路等の駐留軍用地跡地内の構想道路の事業化に取り組む	3-(13)-イ	駐留軍用地跡地利用の早期着手に向けた取組の推進	先行取得による土地取得面積	68.6ha (R2年度)	94.61ha		必要な土地の確保を目指す	必要な土地の確保を目指す	前進 達成100%以上	達成	企画部	県土・跡地利用対策課
		イ 骨格軸となる鉄軌道を含む新たな公共交通システムの導入 a 鉄軌道を含む新たな公共交通システムの導入に向けては、市町村のまちづくりや広域的な都市計画と連携を図り、駐留軍用地跡地による県土構造の再編を視野に入れた取組を進める	3-(13)-ア	駐留軍用地跡地の特性を生かした効果的な跡地利用の推進	プロジェクト件数(検討含む)	2件	2件	2件	0件	前進 達成100%以上	100.0%	企画部	県土・跡地利用対策課	
3	(1)多様なニーズに対応する交通体系の構築 (基本計画:P59掲載)	ア 公共交通の基幹軸と連携する利便性の高い公共交通ネットワークの構築 a モーレール延伸やLRT/BRT等の導入など多様な都市内交通についても検討し、鉄軌道を含む新たな公共交通システムと地域を結び利便性の高い公共交通ネットワークの構築に向けて取り組む	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	公共交通利用者数	29,561千人 (R2年度)	43,055千人 (R5年度)	48,000千人	48,000千人	前進 60%以上100%未満	73.2%	企画部	交通政策課	
			3-(12)-エ	シームレスな交通体系の整備	フィーダー(支線)交通検討実施エリア数(累計)	3エリア	3エリア	2エリア	2エリア(方面)	横ばい	0%	企画部	交通政策課	
	(2)シームレスで利便性の高い利用環境の整備 (基本計画:P59掲載)	ア 既存公共交通の利用環境改善 a バス停留所等の整備や路線バスの到着案内等、乗り継ぎ環境の充実を推進する c 公共交通コスト負担軽減の検討	3-(12)-エ	シームレスな交通体系の整備	乗合バス利用者数	17,785千人	23,107千人	27,362千人	27,362千人	前進 0%超60%未満	56%	企画部	交通政策課	
		イ エリア内交通結節機能の強化 a ラストワンマイルの交通サービスの普及を促進する	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	電動車(EV・PHV)普及率	0.221% (R2年度)	0.34%	1.016%	1.016%	前進 0%超60%未満	15%	環境部	環境再生課	
		ウ 新技術等を活用した交通サービスの充実 b 公共交通の静的・動的データの継続的な利用環境の構築を推進する	3-(2)-エ	DXによる沖縄観光の変革	旅行中に利用した公共交通機関の割合	67.3% (R3年度)	79.0%	70.3%	70.3%	前進 達成100%以上	390.0%	文化観光スポーツ部	観光振興課	
	(3)まちづくりと一体となったモビリティ戦略 (基本計画:P60掲載)	ア 首里城周辺の歴史まちづくりと一体となった交通環境整備 a 首里地域の交通需要の適正化に向けた取組を促進する b 地域の暮らしと観光が両立した交通環境整備を促進する	1-(5)-ア	首里城の復興	首里城公園来場者数	337,884人 (R2年度)	1,671,691人	880,000人	880,000人	前進 達成100%以上	246%	土木建築部	首里城復興課	
		ウ マリントウンMICEエリアにおける良好な都市形成に資する交通環境の構築 a 域外と域内を結び交通結節機能の構築を促進する	3-(2)-オ	マリントウンMICEエリアの形成を核とした戦略的なMICEの振興	1,000人以上のMICE開催件数	11件 (R2年)	119件	193件	193件	前進 0%超60%未満	59%	文化観光スポーツ部	MICE推進課	
		エ 地域のまちづくりに資する快適な交通環境の整備 a 地域を豊かにする歩行者中心の道路空間の構築を支援する	2-(7)-イ	快適な生活環境の形成	県管理道路の整備済延長	0km (R3年度末をゼロに設定)	4.24km	4.86km	4.86km	前進 60%以上100%未満	87%	土木建築部	道路街路課	
		イ TDM施策の推進 a ライフステージに応じた効果的なTDM施策を促進する b 関係機関等におけるTDM 施策の実施事例の共有を推進する	3-(12)-エ	シームレスな交通体系の整備	てだこ浦西駅パークアンドライド駐車場入庫台数	85,826台 (R2年度)	245,768台	164,327台	164,327台	前進 達成100%以上	204%	土木建築部	都市計画・モビリティ課	
	(5)健康で快適に暮らす環境整備 (基本計画:P62掲載)	ア 健康で快適な暮らしを支える道路環境整備 a 街路、生活に密着した道路の整備を推進する	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	歩いていける身近な都市公園(街区公園)箇所数	6箇所 (R2年度)	2箇所 (R5年度)	3箇所	3箇所	前進 60%以上100%未満	67%	土木建築部	都市公園課	
4	(2)地域内の特性に応じた移動手段の確保 (基本計画:P69掲載)	ア 地域特性に応じた移動手段の確保 a 市町村の地域公共交通計画等の策定に向けた取組を促進する	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	公共交通利用者数	29,561千人 (R2年度)	43,055千人 (R5年度)	48,000千人	48,000千人	前進 60%以上100%未満	73.2%	企画部	交通政策課	
		ア 地域特性に応じた移動手段の確保 c 地域のニーズ等を踏まえて、EV等次世代自動車の普及促進や新たなモビリティ導入に向けた取組を促進する	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	電動車(EV・PHV)普及率	0.221% (R2年度)	0.34%	1.016%	1.016%	前進 0%超60%未満	15%	環境部	環境再生課	
		イ 道路基盤の維持・更新 a 生活を支える道路整備を推進する	2-(7)-イ	快適な生活環境の形成	県管理道路の整備済延長	0km (R3年度末をゼロに設定)	4.24km	4.86km	4.86km	前進 60%以上100%未満	87%	土木建築部	道路街路課	
		イ 道路基盤の維持・更新 b 厳しい塩害環境下にある離島架橋については、安定的な陸上交通の確保のため、定期点検に基づく予防保全型の老朽化対策を推進する	2-(8)-エ	離島を結び支える安全・安定的でシームレスな交通体系の構築	離島における乗合バス利用者数	499千人 (R2年度)	1,043千人 (R5年度)	945千人	945千人	前進 達成100%以上	122%	企画部	交通政策課	
		ウ バス路線の確保・維持 a 運営収入だけでは維持が困難な赤字路線について、国と市町村と連携して運行費補助や車両購入費補助等を行う。	3-(12)-エ	シームレスな交通体系の整備	乗合バス利用者数	18,184千人	23,107千人	27,362千人	27,362千人	前進 0%超60%未満	54%	企画部	交通政策課	
	(1)離島・過疎地域を結び、産業振興を支える交通体系の構築 (基本計画:P68掲載)	ア 離島空港の整備 a 離島空港の機能充実のため、新石垣空港、下地島空港において、各ターミナルビル社による国際線旅客受入体制整備に係る取組を支援する d 離島空港の保安対策充実のため、各種セキュリティ対策の強化、高度な危機管理体制の構築を推進する	2-(8)-エ	離島を結び支える安全・安定的でシームレスな交通体系の構築	離島空港の年間旅客数	284.1万人	553.8万人	499.7万人	499.7万人	前進 達成100%以上	111%	土木建築部	空港課	
			3-(12)-イ	世界最高水準を見据えた拠点空港等の整備	空港における行動計画に即した訓練、研修実施数	1回 (R3年度)	1回	1回	1回	前進 達成100%以上	100%	土木建築部	空港課	
		イ 離島港湾・漁港の整備 b 港湾機能を有する漁港の整備と維持・保全を行う	3-(7)-カ	成長産業化の土台となる農林水産業の基盤整備	係留施設の機能高度化整備率	8.0% (R3年度)	14%	15%	15%	前進 60%以上100%未満	86%	農林水産部	漁港漁場課	
		ウ 人流・物流の拡大に向けた取組強化 b 沖縄本島と離島の児童の交流を促進し、離島地域の重要性や特殊性及び魅力に対する認識を深める機会の創出に取り組む	4-(4)-ア	離島と本島・県外との交流の促進	本島及び離島から離島への派遣やオンラインで交流する児童数(累計)	619	6999	6619	6619	前進 達成100%以上	106%	企画部	地域・離島課	

基本計画 実施分野	施策展開	施策項目(主な項目)	実施計画 施策展開記号	施策展開	成果指標名	基準値	R6実績値	R6計画値	R6目標値	「状況区分」 基準値と現状値の比較	達成状況	担当部	課名
4	(1) 離島・過疎地域を 結び、産業振興を支える 交通体系の構築 (基本計画:P69掲載)	イ 離島港湾・漁港の整備 a. 離島港湾整備事業を推進する	2-(8)-エ	離島を結び支える安全・安 定的でシームレスな交通体 系の構築	離島港湾における定期航路の数	22航路	22航路	22航路	22航路	前進 達成100%以上	100%	土木建築部	港湾課
		イ 航路・航空路の確保・維持 a. 国・関係市町村と協調した運航費補助により、離島航路の確保・維持を図る b. 船舶の建造・購入費補助により、離島航路の確保・維持を図る											
	(3) 人流・物流に係る 交通コスト低減化と島 外移動手段の確保・維持 (基本計画:P70掲載)	ア 人流・物流に係るコスト低減化 a. 人海に係る交通コストについては、離島住民等の移動に係る航空運賃及び 船賃を低減し、移動に伴う負担軽減を推進する b. 生活コストについては、沖縄本島から小規模離島を中心とする県内有人離島 へ輸送される食品、日用品等の輸送経費等の低減に市町村等と連携して取り組 む c. 離島における石油製品については、輸送経費等に対し補助を行い、沖縄本 島並みの価格の安定と円滑な供給に取り組む	2-(8)-ア	人流・物流のコスト低減と 情報通信基盤の強化	低減化した路線における航路・航空路の利用 者数(離島住民) (低減化した路線における航空路の利用者数 (離島住民)) 低減化した路線における航路・航空路の利用 者数(離島住民) (低減化した路線における航路の利用者数(離 島住民))	航空路 292千人 航路 468千人	航空路 527千 人 航路 582千人	航空路 422千人 航路 655千人	航空路 422千人 航路 655千人	前進 達成100%以上 前進 60%以上100%未 満	181% 61.0%	企画部	交通政策課
5	(1) 安心して安全に 移動できる交通環境・基 盤の整備 (基本計画:P74掲載)	ア 交通安全対策の強化 a. ハンプ等の交通安全施設及び歩行空間を整備する b. 交通安全の取組を推進する c. 交通事故防止及び飲酒運転根絶を図るため広報啓発等を推進する	2-(4)-ウ	安全・安心に暮らせる地域 づくり	交通事故重傷者数及び死者数 (交通事故重傷者数)	交通事故重傷者数 434人 (R3年)	407人	394人	394人	前進 60%以上100%未 満	68%	警察本部交通 部	交通企画課
		イ 誰一人取り残さない移動環境の整備・支援 a. ノンステップバスの導入を支援する d. バス通学費等の支援を行う f. オープンデータを活用した観光客への臨時ダイヤやアラート情報を発信する 体制の構築を推進する	3-(12)-エ	シームレスな交通体系の整 備	乗合バス利用者数	17785千人	23107千人	27362千人	27362千人	前進 0%超60%未 満	56%	企画部	交通政策課
		イ DXによる沖縄観光の革新	3-(2)-エ	旅行中に利用した公共交通機関の割合	67.3% (R3年度)	79.0%	70.3%	70.3%	前進 達成100%以上	390.0%	文化観光スポ ーツ部	観光振興課	
	(2) 大規模災害時等 にも強靱性を発揮する交 通体系の構築 (基本計画:P75掲載)	ア 大規模災害時等に備えた強くなやかな県土づくりの推進 a. 安全・安心な道路ネットワークを形成するため、落石等の恐れがある箇所 で災害を未然に防止する対策を実施する b. 緊急輸送機能を持つ港湾施設の整備を推進する	3-(12)-ウ	経済成長を加速させる拠点 港湾機能やネットワーク 機能の強化拡充	災害時における緊急物資等の輸送ネットワ ークが構築された港湾数	6港 (R2年度)	6港	6港	6港	前進 達成100%以上	100%	土木建築部	港湾課
		イ 復旧・復興への対応と被災者のすべての人の避難支援 a. 道路啓開計画に基づく連絡・連携体制を立ち上げ、速やかに道路啓開を 実施できる体制作りを推進する b. 緊急時における輸送機能を確保するための無電柱化を推進する	2-(4)-イ	大規模災害等に備えた強 くなやかな県土づくりの推 進	緊急輸送道路における無電柱化率	5.4% (R2年度) 【参考】 5.3% (R元年度)	5.8%	5.8%	5.8%	前進 達成100%以上	100%	土木建築部	道路管理課
	(3) 持続的な社会を支 える交通基盤の維持・ 更新	ア 計画的な社会基盤の整備 a. 「個別施設計画」に基づき修繕・更新によるライフサイクルコストの最小化 及び長寿命化を推進する。	2-(4)-イ	大規模災害等に備えた強 くなやかな県土づくりの推 進	社会基盤等の個別施設計画更新数(累計)	3計画 (R3年度) 【参考】 3計画 (R元年度)	7計画	7計画	7計画	前進 達成100%以上	100%	土木建築部	土木総務課
イ 公共交通等の移動手段の確保・維持 a. 生活バス路線の確保・維持を図る		1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくり の推進	公共交通利用者数	29,561千人 (R2年度)	43,055千人 (R5年度)	48,000千人	48,000千人	前進 60%以上100%未 満	73.2%	企画部	交通政策課	
6	(1) 豊かな自然・歴史・ 伝統・文化の保全と利 活用に資する交通環 境の構築	ア 生物多様性保全に資する環境整備 a. 世界自然遺産登録地への入域管理のため、関係者間で人流データ等の指 標を統一して管理し、共有するといった体制作りを検討する	1-(2)-ア	自然環境・生物多様性の保 全・継承	世界自然遺産登録の更新	沖縄島北部及び西 表島の世界自然遺 産登録(令和3年7 月)(※世界遺産委 員会に登録遺産の 保全状況等を6年 ごとに報告)	—	—	令和9年度以降の 定期報告に向け、 遺産地域の保全と 利用の両立を図り、 貴重な自然環境を 次世代へ継承する 取組を推進	前進 達成100%以上	達成	環境部	自然保護課
		ア 生物多様性保全に資する環境整備 c. 生物多様性を保全する地域との人の往来や物流などによる外来種の拡散を 防止するため、各事業者と連携した取組を推進する ウ 自然環境に配慮した交通環境の構築と緑化や緑地の維持管理 a. 希少生物種のロードキルを防ぐために道路標識やアンダーパスの設置等を 推進する	1-(2)-ア	自然環境・生物多様性の保 全・継承	重点対策種等の排除・根絶地域数	0地域 (R3年度)	1地域	1地域	1地域	前進 達成100%以上	100%	環境部	自然保護課
		イ 沖縄の歴史と景観に配慮した空間の創出 a. 道路等の公共空間において、地域の歴史、文化に配慮し、調和の取れた景 観形成を促進する	1-(5)-イ	沖縄の歴史と景観に配慮し た千年悠久のまちづくり	景観アセスメント数(累計)	58件 (R2年度)	87件	98件	98件	前進 60%以上100%未 満	73%	土木建築部	都市計画・モ ーレール課
		イ 沖縄の歴史と景観に配慮した空間の創出 b. 良好な景観創出のための無電柱化を推進する	1-(5)-イ	沖縄の歴史と景観に配慮し た千年悠久のまちづくり	無電柱化整備総延長	164.5km (R2年度)	184.0km	180.5km	180.5km	前進 達成100%以上	122%	土木建築部	道路管理課
		イ 沖縄の歴史と景観に配慮した空間の創出 c. 空港・港湾の緑化、良好な沿道景観の形成を推進する	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくり の推進	緑化活動団体数	646団体 (R2年度)	687団体	670団体	670団体	前進 達成100%以上	171%	環境部	環境再生課

基本計画 施策分野	施策展開	施策項目(主な項目)	実施計画 施策展開記号	施策展開	成果指標名	基準値	R6実績値	R6計画値	R6目標値	「状況区分」 基準値と現状値の比較	達成状況	担当部	課名
6	(2)2050年カーボンニュートラルの実現に貢献する交通環境の構築 (基本計画:P79掲載)	ア 運輸部門における脱炭素化及び省エネルギー化に向けた交通インフラの強化 a.EV(電気自動車)等次世代自動車の普及を促進する	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	電動車(EV・PHV)普及率	0.221% (R2年度)	0.340%	1.016%	1.016%	前進 0%超60%未満	15%	環境部	環境再生課
		ア 運輸部門における脱炭素化及び省エネルギー化に向けた交通インフラの強化 g.EV等の普及による運輸部門の脱炭素化や、空港や港湾における脱炭素化に向け、再生可能エネルギー等の導入拡大を推進する	1-(1)-ア	脱炭素島しょ社会の実現に向けたエネルギー施策の推進	再生可能エネルギー電源比率	8.2%	12.5%	12.1%	12.1%	前進 達成100%以上	110%	商工労働部	産業政策課
		ア 運輸部門における脱炭素化及び省エネルギー化に向けた交通インフラの強化 c.新技術導入や運航方式改善による航空機運航分野のCO2削減を促進する d.低・脱炭素化船開発後の普及や運航効率改善による海上輸送分野のCO2削減を促進する e.脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化等に取り組み、カーボンニュートラルポートの形成を推進・促進する g.EV等の普及による運輸部門の脱炭素化や、空港や港湾における脱炭素化に向け、再生可能エネルギー等の導入拡大を推進する f.空港の脱炭素化を推進する	1-(1)-ア	脱炭素島しょ社会の実現に向けたエネルギー施策の推進	一人当たりの二酸化炭素排出量	8.0t-CO <sub>2</sub> /人 (R元年度)	7.3t-CO <sub>2</sub> /人 (R4年度)	6.6t-CO <sub>2</sub> /人	6.6t-CO <sub>2</sub> /人	前進 0%超60%未満	50%	環境部	環境再生課
		イ 過度な自家用車利用からの転換 a 鉄軌道を含む新たな公共交通システムの導入に向けた取組を推進する b 自転車通行空間の整備を推進する c 観光客の公共交通利用を促進する取組を推進する	3-(12)-エ	シームレスな交通体系の整備	フィーダー(支線)交通検討実施エリア数(累計)	3エリア	3エリア	2エリア	2エリア(方面)	横ばい	0%	企画部	交通政策課
			3-(12)-エ	シームレスな交通体系の整備	てだこ浦西駅パークアンドライド駐車場入庫台数	85,826台 (R2年度)	245,768台	164,327台	164,327台	前進 達成100%以上	204%	土木建築部	都市計画・モノレール課
			3-(2)-エ	観光二次交通の利便性向上及び利用促進	旅行中に利用した公共交通機関の割合	67.3% (R3年度)	79.0%	70.3%	70.3%	前進 達成100%以上	390.0%	文化観光スポーツ部	観光振興課